

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

人を結び、時を結び、地域を結ぶ 結の故郷 越前おおの雇用創造計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

大野市

### 3 地域再生計画の区域

大野市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地域の概要

大野市は、福井県東部に位置し、北は石川県と勝山市、東と南は岐阜県、西は福井市と池田町に接している。平成 17 年 11 月 7 日に和泉村を編入し、総面積は 872.43 ㎢となり福井県内最大である。市域の約 87%を森林が占め、東部は白山国立公園や奥越高原県立自然公園に含まれている。日本百名山の一つである荒島岳など白山の支脈の山々に囲まれており、清らかな水と豊かな食に恵まれた、歴史、文化、伝統が息づく奥越の中核都市として発展してきた。

#### 4-2 地域の現状

(人口)

本市の人口は昭和 30 年の 47,621 人をピークに減少に転じ、平成 27 年 1 月 1 日現在では 33,162 人と、平成 17 年 1 月 1 日現在の 37,625 人と比較して 10 年間で 11.9%の減少（県平均 4.4%減少）となっている。

社会動態は昭和 60 年以降、減少が続いており、昭和 60 年に 124 人だった社会減は平成 26 年には 225 人まで拡大している。自然動態は、平成 6 年以降、死亡数が出生数を上回る状況が続き、平成 6 年に 13 人だった自然減は平成 26 年には 228 人まで拡大している。社会減と自然減が相まって人口減少に歯止めがかからない状況が続いており、国立社会保障・人口問題研究所によれば、平成 52 年には、人口が 21,525 人まで減少すると推計されている。

社会減の主な要因としては、昭和 61 年に 2,773 あった市内の事業所が、平成 24 年に 1,950 まで減少したことにより、求職者が働く場を求めて市外へ流出していると考えられる。平成 22 年の国勢調査の結果によると、就業者 18,212 人のうち 4,498 人（約 24.6%）が市外へ通勤しており、平成 27 年 3 月に転出者を対象に行ったアンケートでは、回答者の約 64%が転出の理由を「就職・勤務の都合」としている。

平成 26 年度に転出した者の年代別内訳は、0 歳から 19 歳が 125 人(13.5%)、

20歳から29歳が405人(43.9%)、30歳から39歳が234人(25.4%)、40歳から49歳が64人(6.9%)、50歳以上が95人(10.3%)となっており、20歳から29歳の若年層の転出が顕著となっている。

また、平成26年10月1日現在の高齢化率は33.2%と、全国平均の26.0%、県平均の27.9%と比べて著しく高くなっている。

#### (産業)

本市の産業構造は、伝統的に農業や繊維産業が盛んであったが、農家の高齢化や後継者不足、国際競争の激化による繊維産業の衰退により、年々、第1次産業、第2次産業従事者の割合が低くなり、第3次産業従事者の割合が高くなる傾向にある。国勢調査の結果によると、第1次産業従事者は、平成12年に2,380人(11.1%)であったものが、平成22年には1,775人(9.7%)と1.4ポイント減少しており、第2次産業従事者は、平成12年に8,498人(39.7%)であったものが、平成22年には5,615人(30.8%)と8.9ポイント減少している。一方、第3次産業従事者は、平成12年に10,512人(49.1%)であったものが、平成22年には10,808人(59.3%)と10.2ポイント増加している。

現在の本市の主な産業は、電子・デバイスを中心とした製造業であり、製造業従事者は、平成22年国勢調査時に3,223人(17.7%)と最も大きな割合を占めている。しかし、福井県工業統計調査の結果によると、事業所数、製造品出荷額ともに減少が続いており、従業員4人以上の事業所数は平成15年の122から平成25年の89に33減少し、製造品出荷額は平成15年の521億9,248万円から平成25年の396億2,907万円に125億6,341万円減少している。

商業についても、縮小が続いており、福井県商業統計調査、経済センサスの結果によると、事業所数は平成14年の635から平成24年の398に、従事者数は平成14年の2,967人から平成24年の1,946人に、年間販売額は平成14年の520億6,344万円から平成24年の328億4,400万円に減少している。

各産業が縮小している中、観光客入込数については、平成26年に1,935,500人と過去最高を記録し、平成17年の1,462,500人と比較すると473,000人(32.3%)増加している。

観光関連産業の中心である宿泊業・飲食業については、事業所・企業統計調査、経済センサスの結果によると、事業所数は平成18年の258から平成24年の233に減少しているものの、従事者数は平成18年の948人から平成24年の1,113人に165人増加している。しかし、観光客は増加しているものの、各観光地を結び、滞在時間を延ばすための仕掛けが不足していることから、平成26年に本市を訪れた観光客の96.4%が滞在時間の短い日帰り客となっている。福井県観光振興課の調査結果によると、1人当たりの平均観光消費額は宿泊の場合が25,473円、日帰りの場合が4,306円であり、地域内での観光消費額を増加させ、地域内の観光関連産業の振興を図るには、日帰り型観光地から宿泊型観光地への転換が必要となっている。

表 1 産業別従事者の構成

	従事者数	割合	主な産業	従事者数	割合
第 1 次産業	1,775 人	9.7%	農業	1,671 人	9.2%
第 2 次産業	5,615 人	30.8%	建設業	2,384 人	13.1%
			製造業	3,223 人	17.7%
第 3 次産業	10,808 人	59.3%	卸売業・小売業	2,624 人	14.4%
			医療・福祉	2,323 人	12.8%
分類不能	17 人	0.1%		17 人	0.1%
計	18,215 人	100.0%	-	18,215 人	100.0%

資料：平成 22 年国勢調査

表 2 製造業(4人以上) 事業所数・従事者数・年間販売額 (単位：事業所, 人, 万円)

	H15	H17	H19	H21	H23	H25
事業所数	122	114	116	91	93	89
従事者数	3,011	2,712	2,908	2,531	2,017	2,155
年間販売額	5,219,248	4,725,413	5,486,505	3,856,700	4,447,398	3,962,907

資料：福井県工業統計調査

表 3 商業 事業所数・従事者数・年間販売額 (単位：事業所, 人, 万円)

	H14	H16	H19	H24
事業所数	635	623	550	398
従事者数	2,967	2,746	2,559	1,946
年間販売額	5,206,344	4,795,745	4,465,748	3,284,400

資料：福井県商業統計調査・経済センサス

表 4 宿泊業・飲食業 事業所数・従事者数 (単位：事業所, 人)

	H18	H21	H24
事業所数	258	266	233
従事者数	948	972	1,113

資料：事業所企業統計調査・経済センサス

表 5 観光客入込数 (単位：千人)

	H17	H18	H20	H22	H24	H26
日帰り	1,364	1,442	1,433	1,738	1,426	1,831
宿泊	99	81	82	89	111	105
計	1,463	1,523	1,515	1,827	1,537	1,936

資料：市商工観光振興課調

#### (地域資源)

本市においては、平成 25 年 2 月に「越前おおのブランド戦略」を策定し、「人、歴史、文化、伝統、自然環境、食」など本市が誇る魅力ある資源のすべてを越前おおのブランドとして磨き上げ、大野人のぬくもり、先人から伝承した歴史、豊かな自然を感じられる四季の魅力、清らかな水が育んだ里の味などを総合的に結びつけた「結の故郷 越前おおの」をブランドキャッチコピーとして市内外にアピールすることで、市民が地域に自信を持つとともに、本市を訪れたい、越前おおのブランドの製品を購入したいと考える人を増やし、市民所得の向上につなげていく取り組みを推進している。

本市の代表的な地域資源としては、織田信長の部将である金森長近が築城した越前大野城、城下町の風情を色濃く残す碁盤目状のまちなみ、中世から近世にかけて築かれた寺院が連なる寺町通り、春分の日から大晦日まで開かれる七間朝市、名水百選に選定された豊富な地下水、特産品である里芋や米、良質な地下水と農産物を生かした酒、醤油、酢、味噌、豆腐、漬物、なれ寿司等の発酵食品などがある。

#### (これまでの取組)

本市においては、平成 20 年 7 月、交流人口の増加と商店街の活性化を柱とする大野市中心市街地活性化基本計画を策定し、賑わいあふれるまちづくりを目指して各種活性化施策を展開してきた。平成 22 年 4 月には、本市を訪れた観光客をまちなかへ導くゲートウェイとして位置付ける「越前おおの結ステーション」が完成し、時を同じくして「越前大野城築城 430 年祭」を開催することで、観光客入込数の大幅な増加を図った。平成 25 年 3 月には第 2 期大野市中心市街地活性化基本計画を策定し、平成 26 年に「天空の城 越前大野城」を全国に向けて発信するとともに、「結の故郷発祥祭」を年間を通じて開催することで、観光客入込数は過去最高の 1,935,500 人を記録した。

### 4-3 地域の課題

本市では、市の基幹産業である製造業の縮小から若年層が働く場を求めて市外へ流出する状況が続いており、少子高齢化による自然減と相まって人口減少が急激に進行している。また、人口が減少することで、市内の市場が縮小し、卸売業や小売業等の商業においても事業所数、年間販売額の減少が続いている。

市内の事業所においては、事業を継続していくための後継者の確保にも苦慮しており、平成 27 年 6 月に市内の事業所を対象に行ったアンケートでは、回答者の約 29.8%が「後継者がいない」と回答しており、「事業を継承するかを含めて未定」を含めると約 58.8%の事業所において事業継承の目途が立っていない状況である。

既存産業の衰退により働く場が減り、働く場の減少が人口減少につながり、

人口減少により地域内の市場規模と労働力が減少することで、さらに産業の衰退に拍車がかかるといふ負の循環が本市の課題であるといえる。

この負の循環を食い止めるためには、今後、成長が見込まれる分野において産業の振興を図り、地域内において若年層が働く場を確保するとともに、そこで必要とされる能力を持った人材を育成することが必要である。

そのような中、観光客が増加傾向にあり、また、中部縦貫自動車道の全線開通、北陸新幹線の福井開業（平成 34 年度予定）により観光客の増加を見込むことができ、観光関連産業については、製造業に次ぐ本市の産業の柱として期待できる分野であることから、地域経済の活性化と雇用創出を図るためには観光関連産業の振興が重要となっている。

観光関連産業の振興には、地域内における観光客の消費拡大が必要であり、観光客の滞在時間を伸ばすとともに、繰り返し本市を訪れるリピーターをつくることが重要となっている。そのためには、地域資源の魅力と観光客のニーズを的確にとらえた商品開発、観光客をお迎えする心のこもったおもてなしのサービス、インターネットを活用した効果的な情報発信、今後、増加が見込まれる外国人観光客への対応ができる人材の育成が必要となっている。

#### 4-4 計画の目標

本計画は、本市が進めている「越前おおのブランドの確立」「交流人口の拡大」の効果を最大限に生かし、観光客の増加により拡大しつつある雇用創出の機運を確かなものとするため、観光関連産業の振興と人材育成を図り、地域経済の活性化による雇用の創出を目指すものである。

なお、目標の達成に向けては、厚生労働省の「実践型地域雇用創造事業」を活用するものであり、取り組みの成果を示す指標を以下のとおり設定する。

（目標）実践型地域雇用創造事業による雇用創出 97 人

	27 年度	28 年度	29 年度	合計
雇用創出数	14 人	47 人	36 人	97 人

### 5 地域再生を図るために行う事業

#### 5-1 全体の概要

本市が誇る魅力ある観光素材のすべてを越前おおのブランドとして磨き上げ、地域ブランドの向上を図る。また、観光客をお迎えするおもてなしのサービスを提供できる人材の育成、観光客をターゲットとした新たな観光体験メニューや土産品の開発、観光サービスや土産品に関する情報発信力の強化を推進することで、観光関連産業の活性化と雇用創造に取り組む。

#### 5-2 特定政策課題に関する事項

該当なし

### 5-3 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

### 5-4 その他の事業

#### 5-4-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

(1) 支援措置の名称及び番号

【B0906】実践型地域雇用創造事業（厚生労働省）

(2) 事業の実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

構成員

大野商工会議所、(一社)大野市観光協会、(一社)大野建設業会、テラル越前農業協同組合、九頭竜森林組合、(福)大野市社会福祉協議会、越前信用金庫、福井県労働政策課、福井県奥越農林総合事務所、大野市

(3) 事業の内容

【雇用拡大メニュー】

事業名：観光業開発セミナー

事業概要：観光客をターゲットとした地域内事業所の事業拡大を促進するために、宿泊業、飲食業、旅行業等の事業主を対象に、観光客を取り込むための観光ビジネス戦略やおもてなしのノウハウを学ぶセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成28年1月～平成29年3月

3H×3日×1回／定員15社【平成27年度】

3H×3日×1回／定員15社【平成28年度】

事業名：商品開発・マーケティングセミナー

事業概要：観光客をターゲットとした新たな商品開発により、土産品業、飲食業等の活性化を図るために、土産品業、飲食業等の事業主を対象に、ターゲットの把握方法やコンセプト作り、企画プロセスのポイントを学ぶセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成28年1月～平成29年3月

4H×3日×1回／定員15社【平成27年度】

4H×3日×1回／定員15社【平成28年度】

事業名：ネット活用ビジネスセミナー

事業概要：観光サービスや土産品等に関する情報発信力を強化し、より多くの観光客を呼び込むことで地域内の観光関連産業の振興を図るために、SNSをはじめとしたソーシャルメディアの活用戦略、インターネットショッピングの実践方法等を学ぶセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成28年4月～平成29年12月

3H×3日×1回／定員15社【平成28年度】

3H×3日×1回／定員15社【平成29年度】

事業名：実践メニュー成果物公開セミナー

事業概要：雇用創出実践メニューで開発した成果物を活用して地域内の観光関連産業の振興を図るために、土産品業や旅行業等の事業主、企業予定者等を対象に、雇用創出実践メニューで開発した土産品のレシピや観光体験メニューのノウハウを公開するセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成29年1月～平成29年12月

3H×1日×1回／定員15社【平成28年度】

3H×1日×1回／定員15社【平成29年度】

#### 【人材育成メニュー】

事業名：観光誘客力育成セミナー

事業概要：地域内の歴史、文化、伝統、自然環境、食といった観光資源を生かした旅行商品を開発し、より多くの観光客を地域内に呼び込める人材を育成するために、求職者を対象に、観光マーケティングの基礎や旅行商品開発のノウハウを学ぶセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成28年1月～平成29年3月

3H×4日×1回／定員15人【平成27年度】

3H×4日×1回／定員15人【平成28年度】

事業名：観光おもてなし力育成セミナー

事業概要：繰り返し本市を訪れる観光リピーターを増やし、地域内における観光消費額を拡大できる人材を育成するため、求職者を対象に、おもてなしの心と技術、おもてなしを売上に結び付けるノウハウを学ぶセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月

3H～4H×3 日×1 回／定員 15 人【平成 28 年度】

3H～4H×3 日×1 回／定員 15 人【平成 29 年度】

事業名：売れる商品開発セミナー

事業概要：観光客のニーズに応じた土産品を開発し、効果的なプロモーション活動ができる人材を育成するために、求職者を対象に、土産品のパッケージデザイン、ネーミング、カラーリング、プロモーションのポイントを学ぶセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月

4H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 28 年度】

4H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 29 年度】

事業名：魅せる売場づくりセミナー

事業概要：土産品等の売場において、観光客の購買意欲を刺激し、観光消費額を拡大できる人材を育成するために、求職者を対象に、VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）の知識を学ぶとともに、注目されるポップの作り方やディスプレイの技術等実践で役立つスキルを習得するセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月

3H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 28 年度】

3H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 29 年度】

事業名：ソーシャルメディア活用セミナー

事業概要：地域内の事業所が観光サービスや土産品等に関する情報を発信する際に、販売促進につながる実践的な情報発信力を持った人材を育成するために、求職者を対象に、SNSをはじめとしたソーシャルメディアの活用方法を学ぶセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月

4H×5 日×1 回／定員 15 人【平成 28 年度】

4H×5 日×1 回／定員 15 人【平成 29 年度】

事業名：ウェブデザイナー育成セミナー

事業概要：地域内の事業所が観光サービスや土産品等に関する情報を発信す



る際に、観光誘客力の高いホームページや販売効果の高いネットショッピングサイトを構築できる人材を育成するために、求職者を対象に、ウェブサイト構築のための知識と技術を学ぶセミナーを開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成28年4月～平成29年12月

6H×27日×1回／定員10人【平成28年度】

6H×27日×1回／定員10人【平成29年度】

#### 【就職促進メニュー】

事業名：各種セミナー情報発信事業

事業概要：協議会が取り組む各種事業内容について周知を図るために、ホームページや機関誌等により、市内企業と市内求職者に情報発信を行う。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成27年12月～平成30年3月

事業名：求人・求職マッチングフェア

事業概要：雇用拡大セミナー、人材育成セミナーの効果を生かし、地域求職者の早期就業を図るため、市内企業と地域求職者を対象とした合同就職面接会を開催する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成28年4月～平成29年12月

3H×1日×1回／参加企業10社、参加求職者30人【平成28年度】

3H×1日×1回／参加企業10社、参加求職者30人【平成29年度】

#### 【雇用創出実践メニュー】

事業名：結の故郷 おもてなし消費拡大事業

事業概要：観光客の満足度を高めるとともに、土産品業の活性化を図るために、市内菓子店等と協力し、地域の特産品である里芋や米、名水百選に選ばれた美味しい地下水で作られた酒、味噌、醤油等を生かした和菓子等、城下町で食べ歩きできたり、お土産として持ち帰ることができる「天空の城 越前大野城」等をモチーフとした土産品を開発する。

実施主体：越前おおの雇用創造推進協議会

実施時期：平成27年12月～平成30年3月

事業名：結の故郷 匠の技体験観光事業（再委託）

事業概要：地域内における新たな観光消費を生み出すとともに、観光客の滞在時間を延ばすことで宿泊者数の増加を図るために、観光客がモノ作りの技術等を体験できる体験観光メニューを開発する。

実施主体：(株) 結のまち越前おおの

実施時期：平成 27 年 12 月～平成 30 年 3 月

#### 5-4-2 支援措置によらない独自の取組

事業名：(株) 平成大野屋の取組

事業概要：商業活動を展開する市民参加型第三セクター方式により地域おこしの会社として、市と市民が出資して平成 11 年 6 月に設立。まちなか観光の中心的役割を担うために、特産品の販売や飲食の提供、観光拠点施設平成大野屋の維持管理等を行う。

実施主体：(株) 平成大野屋

実施時期：平成 11 年 6 月～

事業名：(一財) 越前おおの農林楽舎の取組

事業概要：市、大野商工会議所、テラル越前農業協同組合、九頭竜森林組合が出捐して平成 21 年 4 月に設立。本市農業と地域経済の活性化を図るために、農林産物のブランド化と販路拡大等の特産振興、優良農地の確保と効率的利用、多様な担い手の育成確保及び都市部との交流の推進等を行う。

実施主体：(一財) 越前おおの農林楽舎

実施時期：平成 21 年 4 月～

事業名：(株) 結のまち越前おおのの取組

事業概要：市、商工会議所、民間事業者が出資して平成 25 年 1 月に設立。賑わいと活力のある商業環境を整備するために、まち講座「匠の勧め」の実施や伝統的食文化サービス「魚屋さんでおおの膳」の開発、越前おおのの食べ歩き・見て歩きマップの作成等を行う。

実施主体：(株) 結のまち越前おおの

実施時期：平成 25 年 1 月～

事業名：中小企業振興対策

事業概要：市内中小企業の振興を図るために、大野市と大野商工会議所との連携により、中小企業や小規模事業所の経営指導、事業の課題を相談する窓口を設置するとともに、事業所への巡回指導、講習会等を実施する。

実施主体：大野市、大野商工会議所

実施時期：平成 3 年 4 月～

事業名：大野市融資制度

事業概要：市内企業の経営安定化と経営革新の促進を図るために、各種資金融資を行う。

実施主体：大野市

実施時期：平成 8 年 1 月～

事業名：元気チャレンジ企業支援事業

事業概要：市内において未開発の分野での起業や新たな事業展開を支援するために、ベンチャー性の高い事業を起業する事業者や地域資源を生かした新たな名産品、土産品、農商工連携商品の開発や販路開拓を行う事業者に補助金を交付する。

実施主体：大野市

実施時期：平成 21 年 4 月～

事業名：まちなか商店街にぎわい再生事業補助

事業概要：商店街への来訪者の増加と売上の向上を図るために、商店街が行うイベントや研修会に支援を行う。

実施主体：大野市

実施時期：昭和 63 年 4 月～

事業名：中心市街地店舗再生事業補助

事業概要：中心市街地の活性化を図るために、中心市街地の空き地や空き家を活用して出店する事業者及び既存店舗の後継者を支援する。また、県内外の観光客をもてなす新たな取り組みを実施する店舗に対して支援する。

実施主体：大野市

実施時期：平成 26 年 4 月～

事業名：女性起業家・経営者支援事業補助

事業概要：女性経営者の活力を引き出し、地域経済の活性化を図るために、女性経営者による開業や新たな事業展開に対して支援する。

実施主体：大野市

実施時期：平成 27 年 4 月～

事業名：観光セールス事業

事業概要：越前おおのブランドの観光情報を広く発信するために、出向宣伝等の観光セールス活動を実施する。

実施主体：大野市

実施時期：昭和～

事業名：学生合宿誘致事業

事業概要：市内における宿泊者の増加及び滞在型観光の推進を図るために、市内の宿泊施設を学生合宿で利用した団体に宿泊費等の補助を行う。

実施主体：大野市

実施時期：平成 22 年 4 月～

事業名：結の故郷おもてなし事業

事業概要：市内における宿泊者の増加及び滞在型観光の推進を図るために、宿泊等を伴う旅行を催行する旅行事業者への助成、食べ歩き・見て歩きマップを活用した商品販売への助成等を行う。

実施主体：大野市

実施時期：平成 25 年 4 月～

事業名：結の故郷はたらく若者定住奨励金

事業概要：若年者の市内への定住を図るために、市内に定住し、就職している 18 歳から 21 歳までの若者に奨励金を交付する。

実施主体：大野市

実施時期：平成 27 年 4 月～

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 30 年 3 月 31 日まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

本計画は、大野市と越前おおの雇用創造推進協議会が連携して実施するものであり、目標達成評価については、越前おおの雇用創造推進協議会において、実践型地域雇用創造事業利用者へのアンケート調査を行い、雇用創造効果の達成状況等事業の実績及びそれに対する評価を実施する。

### 7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

評価の時期は、毎年度 7 月に、6 月末時点までの企業の雇用創出の状況、地域求職者等の就職・創業の状況及び実践メニューの進捗状況について評価を实

施する。

	関連事業	H27	H28	H29	合計
目標 1					
雇用創出	実践型地域雇用創造事業	14 人	47 人	36 人	97 人
	(内訳)				
	雇用拡大メニュー ・観光業開発セミナー ・商品開発・マーケティングセミナー ・ネット活用ビジネスセミナー	6 人	9 人	3 人	18 人
	人材育成メニュー ・観光誘客力育成セミナー ・観光おもてなし力育成セミナー ・売れる商品開発セミナー ・魅せる売場づくりセミナー ・ソーシャルメディア活用セミナー ・ウェブデザイナー育成セミナー	5 人	30 人	25 人	60 人
	就職促進メニュー ・求人・求職マッチングフェア	0 人	5 人	5 人	10 人
	雇用創出実践メニュー ・結の故郷おもてなし消費拡大事業 ・結の故郷匠の技体験観光事業	3 人	3 人	3 人	9 人
目標 2					
土産品開発	雇用創出実践メニュー ・結の故郷おもてなし消費拡大事業	0 品	3 品	3 品	6 品
目標 3					
観光体験メニュー開発	雇用創出実践メニュー ・結の故郷匠の技体験観光事業	0 件	5 件	5 件	10 件

### 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

目標の達成状況にかかる評価については、越前おおの雇用創造推進協議会が開設するホームページ及び機関紙において、毎年度評価実施後に、速やかに公表する。

## 8 構造改革特別区域計画に関する事項

該当なし

## 9 中心市街地活性化基本計画に関する事項

該当なし

**10 産業集積形成等基本計画に関する事項**

該当なし